

# 令和3年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例報告書

## 佐世保市立早岐中学校

所在地 〒859-3203 長崎県佐世保市陣の内町 100 番地

校長 椰尾 吉嗣

生徒数 592名

学級数 20学級

教育目標「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」

校訓「友愛・創造・健康」



### 1 はじめに

本校の教育目標は「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」である。自分を育ててくれている地域や自然、人々を愛し、そして自分が愛されていることを感じる事が、これからの未来を担う生徒たちの大きな糧となることと考える。

今年度は全校生徒592名、通常学級18学級、特別支援学級2学級でスタートした。また、今年度より通級指導教室(ゆたか教室)が本校に開設され、本校の生徒や近隣中学校の生徒が通級した。

生徒たちは純朴で活動的で、毎年体育大会や文化発表会などの学校行事で、大きなエネルギーと集団の団結力を発揮している。今年度も昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響から4月に学年閉鎖、6月に臨時休校、1月にも学級閉鎖になるなどの影響があった。また、佐世保市や長崎県全体においても佐世保市中学校音楽発表会や運動系部活動の県新人大会の一部の競技などが中止となった。そのような中、感染症対策を講じながら実施された佐世保市中学校体育大会に生徒たちは、感謝の気持ちをもって全力で競技に臨み、感動を味わうことができた。また、今年度全国中学校総合文化祭出場予定であった演劇部は、新型コロナの影響で出場を断念した。その悔しさをばねに無観客で開催された長崎県中学校総合文化祭に出場し、これまで重ねてきた練習の成果が発揮され開催関係者から賞賛をあげた。その様子が、1月中旬から1か月間Web上に掲載された。吹奏楽部においては、感染症対策を行いながら日々練習を積み重ね、県北地区予選で金賞となり県北地区代表として7月末の県大会への出場を決めた。昨年度は、県北予選から中止となったため出場を果たすことができなかった先輩たちの悔しい思いを晴らす結果となった。3年生が楽しみにしていた修学旅行については、当初の時期や訪問先を変更し、コロナ対策を講じ12月に熊本を訪問することができたことは、思い出として生徒たちの心に強く残っている。

保護者はもとより、教育に対する地域の関心は高く、早岐地区自治協議会青少年健全育成部をはじめとする諸団体からの支援、行政施策面からの支援など、地域が一丸となって将来を担う生徒たちの



成長を支えていただいている。このような環境の中で、本市の「特色ある学校づくり対策事業」を有効に活用することにより、家庭・地域との連携をさらに深めながら、本校の教育目標の具現化に努めた。

## 2 テーマと取組

「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」の具現化のために、早岐＝「は」「い」「き」という三つの文字を頭文字にした学校像にちなんだ取組を推進した。

また、保護者・地域へ積極的に広報活動を行うことで、学校・家庭・地域が手を取り合い、連携して学校教育を推進し、未来を担う早岐の生徒を育てている。生徒の心の教育や学力向上についても、本事業を推進する中で、様々な取組を行っている。

テーマ「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」		
は	はきはきと挨拶ができる学校	生徒会スローガンによるあいさつに対する意識の高揚 職業講話・マナー講座によるキャリア教育等
い	居心地のよい学校	i-Checkの活用による生徒理解の深化・生徒指導の改善等
き	規律のある学校	いのちや健康、性教育、薬物乱用防止教室等に関する講演会 保護者や地域への広報活動 登校時刻の意識の高揚

## 3 実践内容と成果

### (1) 生徒会スローガン「笑和前進」への意識の高揚

生徒玄関と体育館に生徒会スローガン「笑和前進」の横断幕を掲げ、生徒会が決めた「はきはきとした挨拶ができる学校」「居心地の良い学校」「規律ある学校」を常に意識させた。



### (2) お先にあいさつ運動

早岐地区小中学校の共通課題である挨拶について改善を図るために、教職員と生徒会役員（毎日）、PTA（新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら学年ごとに1週間ずつ）が「お先にあいさつ運動」を連携して推進している。そして、早岐中学校一徳運動の「お先にあいさつ」の幟を新調するとともに、生徒が考えたあいさつ標語が書かれた幟を持って生徒会役員が校門付近であいさつ運動を行った。また、今年度も昨年度同様、生徒会役員があいさつの動画を作成し、生徒一人一人に普段の自分のあいさつの在り方を振り返らせた。そして、今年度は、自分の登校時刻を意識させるためにあいさつ運動用に電波時計を購入し、活用した。



### (3) 第2学年職業講話及び3年生マナー講座によるキャリア教育

コロナ禍により職場体験学習が困難となったため、代わりに外部講師を招聘して、2日間にわたって職業講話を実施し、生徒の興味・関心を高めた。3年生においては、高校入試面接指導の導入に事業所の方を招聘し、マナー講座を実施した。これらことで、生徒たちのキャリア教育への意識が高めていった。



### (4) おやじの会による学校駐車場ライン引きボランティア

おやじの会で駐車場のライン引きを行ったことで、環境が改善されるとともに教職員と保護者との親睦が図られ、お互いの信頼関係が深まった。

(5) i-Check（2回目）の実施による指導法の検証と新たな課題への対策

今年度は、11月末に2回目のi-Checkを行い、前期前半結果を分析し、学年・学級で意識して取り組んできたことがどうだったのかを検証した。また、2回目の結果を分析し、学年・学級の新たな課題を発見し、その後の指導に役立てた。

(6) プリント作成 Web サイトを活用した基礎学力の向上及び学習環境の整備

基礎学力の向上を図るために、有料のWebサイト「みんなの学習クラブ」を活用してプリントを作成・配付し、授業や放課後の個別指導に活用した。また、コロナ禍でソーシャルディスタンスを保って安全に学習会が行うことができるように長机を購入し利用した。

(7) 家族のふれあいアップ

学校オリジナルカレンダーを各家庭に配付することで、家庭での会話や挨拶などふれあう時間を増やすきっかけにした。

(8) 学校カレンダーの地域配付による広報活動

学校カレンダーを地区の公民館や自治会長などに配付することで学校行事を意識していただき、連携を図るようにした。



(9) 外部講師による心とからだの教育 思春期教室（保健関係の講演会）

生徒の心とからだの成長を促すために、各学年を対象として外部講師を招聘し、次のとおり思春期教室を実施した。

学年	日時	内容・講師
2年	10月27日（水） 6校時	性教育『セクシャリティを越えて』 Take it!虹 代表 儀間 由里香 様
1年	11月12日（金） 5～6校時	歯科指導 『新型コロナ感染症について』 『いつまでも自分の歯で食べるために』 学校歯科医 渡邊 吉郎 様
2・3年	11月19日（金） 6校時	薬物乱用防止教室 学校薬剤師 関 佳子 様
3年	11月25日（木） 5～6校時	性教育『デートDV防止教室』 国際ソロプチミスト佐世保パール 金子 紀子 様
1年	12月22日（水） 5～6校時	性教育『いのちについて考えよう』 長崎県看護協会 助産師職能委員 吉田 美穂子 様

(10) 給食に対する意識の高揚

給食の残菜が多いことが本校の課題であったが、専門部活動を活性化することでだんだんと改善されてきた。この機に乗じて給食用栄養ボードを購入し、専門部活動の中で活用することで更に栄養価についての生徒の意識を高めていった。

(11) 経験や思いを引き継ぎ、伝統を作る取組

全校で取り組んでいる佐世保市中学校体育大会駅伝競走において本年度男子が優勝を果たした。この経験や思いを来年度にも継続させるために生徒の名前を刺繍したペナントを作成した。



#### 4 おわりに

今年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにいろいろな制約があったが、特色ある学校づくりの取組があったからこそ工夫して実施できたことが多い1年であった。また、昨年度以上に生徒会の意識が高まり、活動が活発化した1年でもあった。特に給食の残菜が減ったのは、その一つ事例である。そして、「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」について、「笑和前進」という生徒会スローガンのもと懸命に活動してきたことによって着実に向上している。しかしながら、学力向上という課題が残っている。保護者の協力を得ながらこの課題に対して取り組んでいく。